



第23回社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」
in 愛媛県八幡浜市

Agenda

#1

クラダシチャレンジとは

#2

7日間のスケジュール

#3

活動報告

#4

参加者の声

#5

事後報告会

#6

総括

#1. クラダシチャレンジとは

#1. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

フードロス問題や地方創生に興味関心のある学生が日本全国の地域・農家へインターンとして訪れ、作物の収穫支援や現地での交流を通して、一次産業や地域経済の活性化について考える取り組みです。参加学生の旅費・交通費や現地での滞在費、食費等は、地域経済の活性化と社会発展に寄与するために設立した「クラダシ基金」から支援しています。

クラダシチャレンジ実施の目的

活動中: 収穫したものを「クラチャレ定期便」としてKuradashiのサイト上で販売することで、新たな収益を生み出し、経済面で地方・農家を支えます。さらに、学生が現地を訪れることで町に活気をもたらし、地域の魅力をSNS等で発信することでさらなる発展のパワーに繋がります。

▶クラチャレ定期便について、詳しくは[こちら](#)

活動後: 学生が自治体や農家の方1人1人の温かみに触れ、地方・農業の魅力を体感することで、将来のキャリア選択を通して地域に貢献しようという意識が芽生えます。

#1. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは クラダシ基金の概要

地域経済の活性化と社会発展に寄与するために
設立された支援金制度「クラダシ基金」



地方創生事業・フードバンク支援事業・教育事業・
食のサステナビリティ研究会の社会貢献活動に充てられます。

クラダシ基金とは

クラダシ自らが社会貢献活動を行うために
創設した基金で、ソーシャルグッドマーケット
「Kuradashi」上における寄付先の1つです。

地域創生事業やフードバンク支援事業、教
育事業、食のサステナビリティ研究会の社
会貢献活動に活用しています。

▼参考URL

クラダシ基金について

: <https://www.kuradashi.jp/fund>

#1. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは 「クラダシチャレンジ」の目的

①みかん産業の振興と新たな収益の獲得

八幡浜市はみかんの生産量、生産額共に愛媛県のトップを占めています。しかし、八幡浜市を含む愛媛県全体を通して**柑橘類の収穫量はこの30年間で半減**している現状があります。生産者の高齢化や担い手の減少が大きな課題であり、将来の人口減少に対応するためにも柑橘産業の再興は八幡浜市、そして愛媛県の浮沈の鍵を握るテーマとなっています。収穫作業の必要な時期に学生が現地を訪れることで、収穫に際する人手不足が解決されると同時に、農家さんの新たな収益を獲得することができます。

②地方の関係人口の増加に貢献、若者を呼び地域振興に

地元の方から見たら当たり前風景でも、都心にいる学生から見ればとても価値のあるものに見え、**地元の商品や土地に誇り**を持つことができます。そして、SNS等を利用して地方の魅力を発信することで、**地方の関係人口の増加**を図ることができます。

③地元の特産品の購買促進に

八幡浜市には、クラチャレで収穫した柑橘の他にも、ちゃんぽん・魚介などの特産品に加え、美しい景観など様々な見所があります。そのような素晴らしい魅力を、活動を通してPRすることで、**購買促進・観光客の増加**を図ることができます。



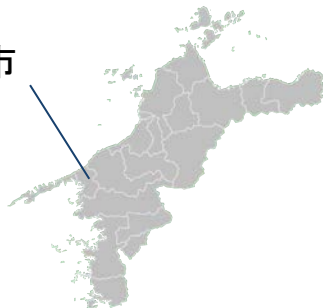
第23回 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」 in 愛媛県八幡浜市

- 活動内容:
 - ①柑橘(せとか・清見)の収穫・梱包
 - ②八幡浜市役所の方との意見交換
 - ③コダテルにて会員の方々との交流会
 - ④金融リテラシー情報講座
 - ⑤釣り・マーマレード作り体験
 - ⑥市内観光(市場見学・サイクリングなど)
 - ⑦SNS等を利用した地方の魅力発信
- 開催期間:2023年2月21日～2月27日
- 参加人数:6人
- 実施企業:株式会社クラダシ(クラダシ基金にて運営)

#1. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは 愛媛県八幡浜市クラダシチャレンジの概要

【愛媛県八幡浜市とは】

八幡浜市



八幡浜市は愛媛県の西部、佐田岬半島の基部に位置する町で、人口は31,141人です(2023年2月末時点)。

リアス式海岸の海岸線を有し、急斜面が海岸に迫る平坦地が少ない地形や岬と入り江が交錯した風光明媚な景観が特徴です。また、この急斜面は水はけがよく、温暖で日当たりのよい気候も相まって、みかん栽培に適しています。そんな八幡浜市は **生産額・生産量共に愛媛県トップシェアを誇るみかん大国** です。



2022年12月8日に株式会社クラダシは、愛媛県八幡浜市と愛媛銀行の3者で、食品ロス削減と特産品のPRに向けた連携協定を締結いたしました。

一次産業活性化に不可欠である、食品ロス削減に向けた取り組みを強化するとともに、地元の特産品や町の魅力の発信を通じて関係人口を拡大することを目指します。

▼連携協定について詳しくは [こちら](#)

#2. 7日間のスケジュール

#2. 毎日の記録

7日間のスケジュール① (Day1-2)

<Day 1>

10:00~17:30 移動

17:30~19:00 八幡浜みなと、魚市場見学

19:00~20:00 夕食(ちゃんぽん)

21:00 宿で全員集合

<Day 2>

7:30~8:00 移動

8:00~12:00 収穫作業

12:00~13:00 昼食

13:00~16:00 収穫作業

16:00~17:00 移動

19:00 夕食



#2. 毎日の記録

7日間のスケジュール① (Day3-4)

<Day 3>

8:30~9:00 移動

9:00~9:30 パンメゾンで朝食

9:30~10:00 移動

10:00~12:00 釣り体験

12:00~12:30 昼食

12:30~13:30 移動

13:30~16:30 マーマレード作り

16:30~17:00 移動

18:30~20:00 自炊

20:00~21:00 夕食

<Day 4>

7:30~8:00 移動

8:00~12:00 箱詰め作業

12:00~13:00 昼食

13:00~14:30 箱詰め作業

14:30~15:30 移動

15:30~16:30 意見交換会

16:45~17:00 金融リテラシー講座

17:00~18:00 移動

18:00~20:00 懇親会



#2. 毎日の記録

7日間のスケジュール① (Day5-6)

<Day 5>

7:30~8:00 移動

8:00~12:00 収穫作業

12:00~13:00 昼食

13:00~16:00 収穫作業

16:00~17:00 移動

18:00 夕食

19:00~19:30 移動

19:30~21:00 みなと湯で入浴

<Day 6>

8:00~8:30 移動

8:30~9:00 どーや食堂で朝食

9:40~10:00 あわしま堂で買い物

10:00~10:30 みかんの花マルシェで買い物

10:30~11:30 八幡浜港へ移動

11:30~12:00 フェリーで大島へ移動

12:00~14:00 大島テラスで昼食・サイクリング

14:00~14:30 フェリーで八幡浜港へ移動

14:30~16:30 アゴラマルシェで買い物

16:30~17:00 移動

17:30~20:00 意見交換会・懇親会



#2. 毎日の記録

7日間のスケジュール①(Day7)

<Day 7>

9:20~ 八幡浜駅発

10:40~ 松山空港着・各自帰宅

最終日は移動のみのスケジュールでしたが、八幡浜市での沢山の出会い、思い出、1週間で学んだことを噛みしめて帰宅しました。



#3. 活動報告

活動の記録① 作業

【収穫作業】

せとかの枝にはトゲがあり段々畑は足場も狭いため、時にはトゲが身体に刺さったり、木の下に潜って収穫したりと苦戦した部分もありました。しかし農家さんや学生メンバーとコミュニケーションを取りながら、和気藹々と楽しく作業をすることが出来ました！

みかん畑から見える広い海の景色は、作業の疲れを癒してくれました。

【箱詰め作業】

柑橘の状態を1つ1つ確認し、箱に詰めて良いものかどうかを判断することがとても難しかったです。出荷までの過程に多くの人の手が加わっていることを知りました。

状態が悪いため処分されてしまう柑橘も多く、フードロスについて考えるきっかけにもなりました。



活動の記録② 意見交換会

【意見交換会】

意見交換会では八幡浜市長、副市長、愛媛銀行の方などたくさんの方々と質疑応答をさせていただきました。市長様から今後50か年の計画をお話いただいたほか、提案、政策への疑問を話し合い、様々な意見を伺うことができ、刺激を受けました。

【交流会】

コダテル会員の皆さんと交流させていただきました。八幡浜市を訪れてみて感じたことや学んだことをたくさん話しました。懇親会も開いていただき、美味しいご飯を食べながら楽しい時間を過ごすことができました。



【みかん畑】

収穫作業中、みかん畑から見える景色です。
宇和海を一望しながら作業でき、とても清々しい気持ちになりました。

【八幡浜市】

八幡浜市には、歴史的建造物もたくさんあります！
真っ黒に染められた商店街や旧洋裁学校の建物などを見学し、細部までこだわり抜かれた技術を目の当たりにしました。

【大島でサイクリング】

道の駅みなとにてロードバイクをお借りし、八幡浜市内、大島をサイクリングしました。「何も無い。」が売りの大島、大自然を肌いっぱいに感じました！



みかん畑からの様子



Kuradashi 黒い商店街の様子



旧白石和太郎洋館



八幡浜から大島まで出航しているフェリー



大島の橋

活動の記録④ 魚釣り・マーマレード作り

【魚釣り】

美味しくて新鮮な魚は八幡浜市の大きな魅力の一つです。
丁寧にサポートしていただいた行った魚釣りは楽しかったです！！
魚釣りの後に山崎さんのお宅で食べた昼食は絶品でした！

【マーマレード作り】

八幡浜といえばマーマレード！！
作りながら味見したマーマレードは微笑んでしまうぐらい甘かったです。
せっかく作り方を覚えたので、自宅でもマーマレードを作ってみようと思います。



#4. 参加者の声

大変さと楽しさ

疲れたり泥だらけになったり人前での発表に緊張したり連続だったので、単に「楽しかった」の一言では表せませんが、今回のクラダシチャレンジに参加できてよかったと心から思っています。今回の経験は今後の人生に役立つものでしょう。しっかり活かしていきたいです。

収穫体験や箱詰め作業を通して、農業の大変さと楽しさ、その一端を実感することができました。八幡浜市を訪れるまでは、みかんの収穫作業をいちご狩りのようなものとイメージしており甘く考えていました。しかし、実際の収穫作業は、棘が刺さったり木の下をくぐる必要があったり、落ちないように気をつけて木に登ったりしなければならずとても大変でした。それでも、作業後にケース一杯のみかんを見たときは得も言われぬ満足感がありました。また、箱詰め作業はスピーディーに行わなければならず、収穫作業とは異なった大変さがありました。個人的には室内での作業より、屋外での作業の方が好きでした。

作業だけでなく、副市長さんたちとの会食やコダテルでの意見交換会、現地の方々からのお話を通して、八幡浜市での暮らしの良さと大変さの一端を知ることができました。その良さをどうPRしていくか、その大変さをどうカバーしていくかが八幡浜市の人口増加において重要になると私は思います。



【中京大学2年 岸本英能】

農業の大変さと食の大切さ

今回のクラダシチャレンジでは、柑橘の収穫作業と箱詰め作業をメインで行いました。収穫作業は枝を切るだけの単純な作業だと思っていましたが、実際に体験してみると、枝にある多くのトゲや段々畑の狭い足場に気を付けながら作業する必要があり、作業の大変さを実感しました。それと同時に、大学生の私たちでも体力が奪われるほど大変だった作業を大半は高齢者の方が行っているという現状を知り、作業の軽労化や、若者の担い手の確保など、八幡浜市のみかん農業に必要なことについても考えるきっかけになりました。

また、箱詰め作業では、収穫された柑橘1つ1つが人の手によって選別、箱詰め、出荷されていく様子を見ることができ、私たちが普段当たり前のように食べている食べ物は多くの人の労力がかけられて私たちの手元に届いているということを知り、食べ物大切さを改めて感じました。

作業中に畑から見える綺麗な海の景色や、八幡浜市の山に一面に広がる伝統的な段々畑は大変美しく、これがまさに八幡浜市のみかん農業の魅力であり、今後更に多くの方に知ってほしいと思いました。



【中京大学1年 宮前里菜】

刺激的な経験

今回のクラダシチャレンジを通してたくさんの刺激的な体験ができました。柑橘の収穫はもちろん、マーマレード作り、釣りなどどれも楽しくとても良い経験になりました。八幡浜市は自然と密接しているため、その土地ならではの経験ができます。

柑橘の収穫、出荷準備では楽しさだけではなく大変さも味わうことができました。僕が何気なくスーパーなどで手にしている食べ物がこんなにも様々な工程を踏んでいると知ることができました。さらに、その工程に自分たちが参加して大変さを知ったので、これからみかんを食べる時に気持ちが変わってくると思います。

1週間という短い期間でしたが、とても素晴らしい毎日を経験することができました。この期間で自分が行動することで意味があるということが身をもって分かりました。八幡浜市の皆さん本当にありがとうございました。



【中京大学1年 横田仁】

農作物への眼差しの変化

以前は果物＝手軽に食べられるものと考えており、スーパーマーケットに行くたびに果物の値段が高いことに対して疑問を抱いていました。しかしクラダシチャレンジでの農作業体験を通して、非常に過酷な作業を経てやっと出荷された果物にそれ相応の値段がつくのは当たり前であり、もっと高くても良いのではないかとさえ考えるようになりました。それは果物だけでなくあらゆる農作物に言えることであり、私の中で農家さんに対する畏敬の念や憧れがより強くなりました。現在農業のスマート化が推進されていますが、山地の傾斜を活かしたみかん畑は足場がかなり悪く、腐りや傷が無いかを判別しながら一つ一つ収穫する必要があるため機械の導入が難しいとされます。そのため、今後も人手の確保が重要であり続けるでしょう。

収穫作業の他にも箱詰め作業の体験を通して、沢山の労力をかけて作られた農作物が出荷や消費の過程でロスが出てしまっているという事実を重く受け止めるようになりました。この思いを胸に、何とかして無駄を減らせるような仕組みやアイデアを考えていきたいと思えます。



【京都大学3年 池田芽生】

八幡浜市の魅力

今回のクラダシチャレンジでは、普段体験することができないような体験ができました。柑橘の収穫や、意見交換会は特に刺激的な体験でした。

クラダシチャレンジに参加する前は、愛媛県を訪れたことはなく、八幡浜市という場所も名前も知りませんでした。事前学習で八幡浜市について調べ、そこで初めて柑橘の産地として有名な地域であることを知りました。

しかし、今回の7日間の滞在と様々な体験を通し、八幡浜市の魅力をたくさん知ることができました。みかん、魚介、ちゃんぽんももちろん魅力的でしたが、私は何より、八幡浜市の空気感、景観、人柄に魅力を感じました。時間に追われないゆったりとした空気感は都会では絶対に味わえません。海と山が見える景観はとても美しく、八幡浜市で出会った方は皆さんとても優しくかったです。人との距離の近さも魅力だと思います。これらの魅力は八幡浜市に実際訪れなければわからない魅力です。

地域の本当に魅力的な部分はその地域に行って初めて気が付くことができると感じました。また、絶対八幡浜市を訪れたいです！



【千葉大学2年 丹野七海】

地域創生は資源増加だけではないということ

今回、クラチャレを通じて八幡浜市での滞在及び、様々な経験をしたことで、『必ずしも資源増加が地方創生に結びつく訳ではないのでは。』と実感しました。確かに、柑橘類の収穫作業を行った際には、年齢層が高く人手が少ない中、このような重労働をするのは大変だと感じました。

しかし、7日間過ごして感じたのは、市民の皆さんが本当に八幡浜市が大好きだということです。

八幡浜市を訪れるまでは、どうしたら人(移住者や観光客)が増えてくれるか、どうしたら資源確保出来るか(お金や情報が八幡浜に回るか)ばかり考えていましたが、良い意味で、地方創生に対する固定観念が崩された気がします。人が沢山来るだけでは、このゆったりとした時間や皆さんが大好きな八幡浜市の雰囲気が消えてしまうのではないかと...、それは勿体無いのではないかとそう考えるきっかけになりました。

一概に資源を増やすのではなく、多くの人に『八幡浜市』という存在を知ってもらい、その人達(関係人口)の心の中に、八幡浜市の存在が1%でも増えていけばいいな、そしてそのお手伝いを私達学生が出来れば良いなと強く感じた7日間でした。



【産業能率大学1年 柳澤美沙希】

#5. 事後報告会

第23回社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」 in 愛媛県八幡浜市の参加者による事後報告会を行いました。

■日時: 2023年3月17日 17:00-18:00

■場所: クラダシオフィス・オンライン配信

■参加者: 「クラダシチャレンジ in 愛媛県八幡浜市」参加学生
八幡浜市の方々
愛媛銀行の方々
中京大学職員
クラダシ社員

■目的: 参加した学生が、現地の方との交流・収穫支援の活動を通して見出した課題への解決策を提案する



Agenda

#1. 課題と解決策立案

八幡浜市の課題発見・解決策立案

今回のテーマ

八幡浜市の(関係)人口を増やすための 一次産業を絡めた施策の提案

八幡浜市の 現状の課題

農業人口が減少しており、特に収穫期に人手が足りなくなる現状がある

学生が 考えること

農業という仕事に魅力を感じてもらうには？

必要な視点

若者にまずは農業を体験してもらうには？

若者の発信力を生かしてできること

(可能であれば)八幡浜市・愛媛銀行・小林果園・クラダシの 4者を交えたスキームにする 実現可能性の高いアイデア

そのアイデアに至った過程の説明を加える(課題 → その課題に対して出た案 → その案を選んだ背景)

誰に向けた提案かを示す

量よりも質(具体的な数値を取り入れる)

現状①

- ホテル少ない

【なぜ？】

宿泊率が下がっている

県外からの観光客は横ばい、県内からが増加

→観光客数は増えてるが、宿泊するまでの観光客がいない



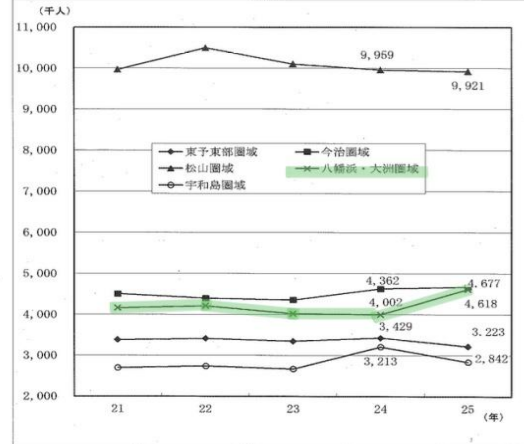
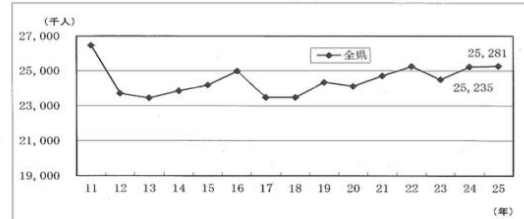
楽天トラベルより(八幡浜市)



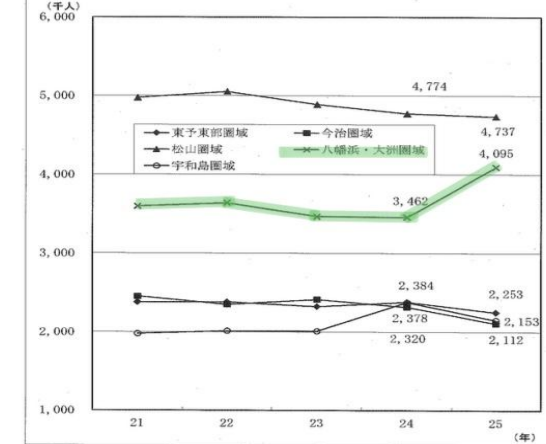
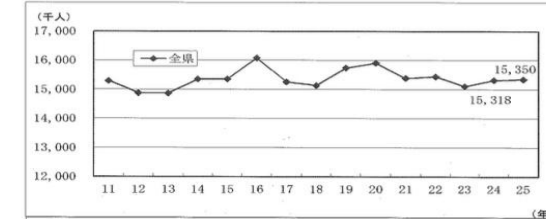
Booking.comより

現状①

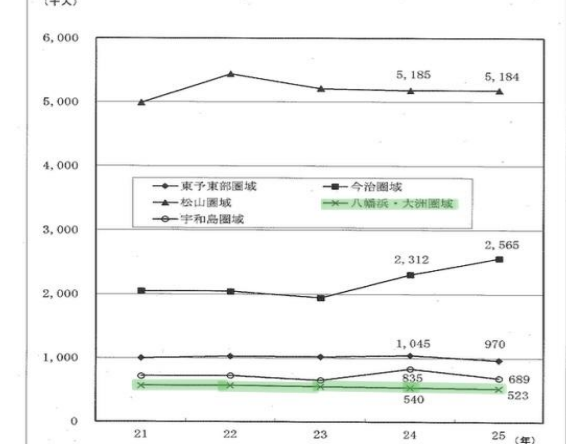
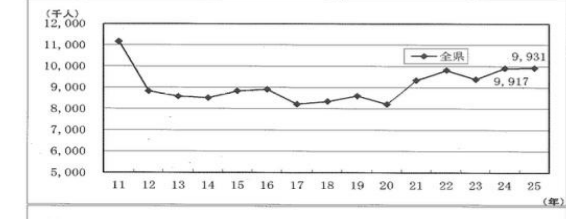
観光客総数の推移



県内観光客数の推移



県外観光客数の推移



現状②

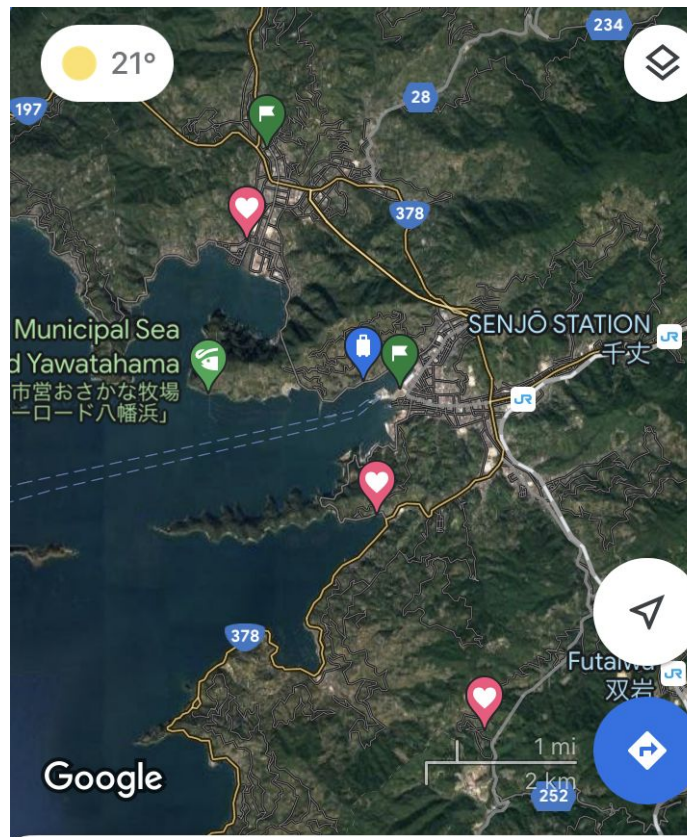
体験場所がバラバラである

【なぜ?】

それぞれがバラバラで体験会を
実施している

私たちは送ってもらえたが...

バスが少ない→バスを増やす予
定もない(利用者がいないため)



Google mapsより

🚩:観光で訪れた場所

❤️:作業場所

🏠:宿(コダテル)

すでに農業に興味を持っている人に「八幡浜市」を選んでもらう。

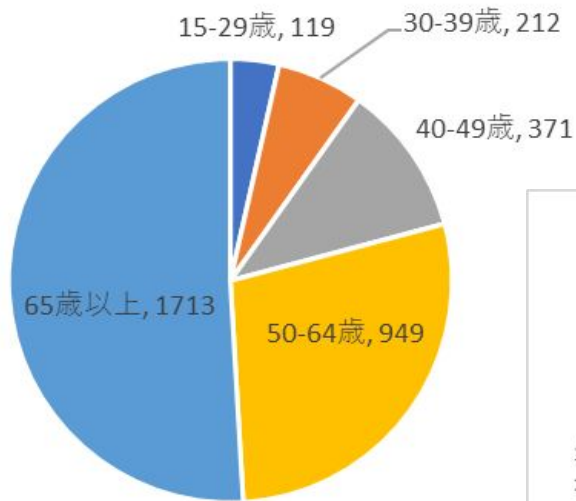
現状③

農家戸数の減少と高齢化

全国で農家戸数の減少と農業人口の高齢化は問題となっている。八幡浜市も例外ではない。

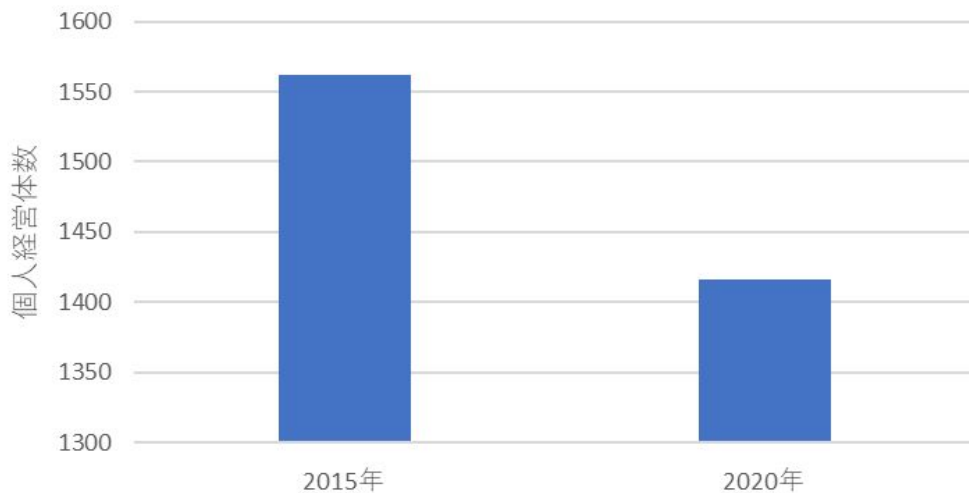
すでに農業に興味を持っている人に「八幡浜市」を選んでもらう。

年齢別農業従事者数



参照:八幡浜市(2020)「農林業センサス」

個人経営体数推移



参照:愛媛県庁(2022)「八幡浜市・伊方町の農業」

すでに農業に興味を持っている人に「八幡浜市」を選んでもらう。

現状④

PR活動の不十分さ

私たちは実際に八幡浜市を訪れて、八幡浜市の魅力をたくさん知ることができた。しかし、魅力に対して知名度のなさを実感した。

→PR活動が不足しているのではないか??

八幡浜市の課題発見・解決策立案

農業という仕事に魅力を感じてもらうには？
若者にまずは農業を体験してもらうには？
八幡浜市の(関係)人口を増やすには？

八幡浜市で農業をしてもらうには？

八幡浜の現状を加味

「八幡浜市」や農業を全く知らない人に興味を持ってもらう。

すでに農業に興味を持っている人に「八幡浜市」を選んでもらう。

八幡浜市を知ってもらう。

「八幡浜市」や農業を
全く知らない人に
興味を持ってもらう。

「八幡浜市」や農業を全く知らない人に興味を持ってもらう。

★「八幡浜市」を知らない、農業も興味ない人にどうしたら足を運んでもらえるか

・観光拠点の設置

・PR活動(後ほど説明)

観光拠点の設置

すでにあるもの

道の駅 みなっと

新フェリーターミナル

観光物販サイト

新たに提案するもの

みかんテーマパークの設立

ホテル建設、開設の推進

みかんテーマパーク(みかん博物館)の設立

主 体: 八幡浜市、愛媛銀行

ターゲット: 八幡浜市を知らない、農業に興味のない人
(特に若者、家族連れ)

内 容:

- みかんの歴史展示
- マーマレード作り体験
- 柑橘収穫体験
- カフェの設置

この形だと面白いかも ... ?



「八幡浜市」や農業を全く知らない人に興味を持ってもらう。

みかんテーマパーク(みかん博物館)の設立

- みかんの歴史展示
 - 主体: 八幡浜市、農家の方々
 - みかんの歴史を通してみかん栽培に興味を持ってもらう
- マーマレード作り体験
 - 主体: マーマレード協会、推進課
 - マーマレード作りが体験できる

「八幡浜市」や農業を全く知らない人に興味を持ってもらう。

みかんテーマパーク(みかん博物館)の設立

- 柑橘収穫体験

- 主体: 農家の方々
- 収穫作業が体験できる

- カフェの設置

- 主体: 八幡浜市、農家の方々、クラダシ
- 生傷等見た目が悪くなったものをスイーツにアレンジし販売
- ⇒ インスタ映えでPRも!
- その他焼き菓子類も販売、消費期限が近いものはクラダシにて販売

「八幡浜市」や農業を全く知らない人に興味を持ってもらう。

みかんテーマパーク(みかん博物館)の設立

- 目 的: 八幡浜市の一大観光拠点となる
フェリー旅や旅の途中で来た人も立ち寄りやすい
とりあえずここに行けば何かできる
(今の状況だと体験するのに面倒)
- 場 所: 愛媛電力跡地(?)

「八幡浜市」や農業を全く知らない人に興味を持ってもらう。

ホテル建設、開設の推進

主 体: 八幡浜市、愛媛銀行

ターゲット: 観光客(釣り)、古民家をどうするか悩んでいる人

内 容:

- リゾートホテル等の誘致
- 古民家再生に対する補助金
- 観光客に対して直接的な割引ではなく、みなっと商品券などの発行をし、利用促進

目 的: 観光客や、修学旅行生が宿泊するには宿が少ない
使われていない古民家、家屋が多く、再利用

すでに農業に興味を持っている人に「八幡浜市」を選んでもらう。

すでに農業に興味を持っている人に「八幡浜市」を選んでもらう。

★すでに農業に興味を持っている人にどのように数ある場所から「八幡浜市」を選んでもらうか。

・支援制度の充実

・PR活動

すでに農業に興味を持っている人に「八幡浜市」を選んでもらう。

支援制度の充実

すでにあるもの

就農支援(ex, 西宇和みかん支援隊 や・わーく)

子育て支援

新たに提案するもの

農家インターン

すでに農業に興味を持っている人に「八幡浜市」を選んでもらう。

農家インターン

主 体: 八幡浜市の農家さん

ターゲット: 農業高校・農業大学の学生、農業に興味を持っている都会に住む人

内 容: 完全に農業に特化したインターン。期間中は農家さんと同じように仕事をし、休日あり。

期 間: 2週間、1カ月

支 援: 旅費や食事代、生活費は農家さんや八幡浜市が出す

→ 八幡浜市を学生の就農先としての選択肢の一つにする

多くの人に「八幡浜市」での農業に興味を持ってもらう。

PR方法

すでにあるもの
SNSの利用
出前授業

新たに提案するもの
農業系、栄養・調理系高校や大学との提携
移住、就農に関するウェブサイト&広告の設置

多くの人に「八幡浜市」での農業に興味を持ってもらう。

農業系、栄養・調理系高校や大学との提携

八幡
浜市

イベントが
あることを
伝える

学校

イベントの
詳細や応
募フォーム
をメールな
どで周知

学生

八幡浜市
のイベン
トに簡単
に参加で
きる！

多くの人に「八幡浜市」での農業に興味を持ってもらう。

ウェブサイト作り&広告の設置

八幡浜市の魅力、移住や就農に関する情報をまとめたウェブサイトをつくる。

- ・このウェブサイトを見れば必要な情報がすべてわかる
- ・支援や体験、イベントにもこのウェブサイトから簡単に参加できるようにする
- ・移居前から交流できるように(コダテル)

ウェブサイト作り&広告の設置

目を引く広告を設置する

- ・詳しい情報は盛り込まない

シンプルかつ、ネタ要素も含めて

- ・愛媛銀行融資が出来ればなお良い

- ・ウェブサイトに簡単に飛ぶことができるQRコードなどを添付する

多くの人に「八幡浜市」での農業に興味を持ってもらう。

ウェブサイト作り&広告の設置

広告場所: **インスタ(全国)**

みかん畑の映像(興味を持たせる)

農業体験

電車中吊り(都内、三大都市圏、松山駅)

八幡浜市のQRなど

インパクトのあるもの

多くの人に「八幡浜市」での農業に興味を持ってもらう。

ウェブサイト作り&広告の設置



#6. 総括

社名

株式会社クラダシ

設立

2014年7月

所在地

東京都品川区上大崎3丁目2-1 目黒センタービル 5F

代表者

代表取締役社長 関藤 竜也

事業内容

ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」の運営

URL

<https://www.kuradashi.jp/> (ショッピングサイト)

<https://corp.kuradashi.jp/> (会社HP)

株式会社クラダシは、愛媛県八幡浜市以外の自治体でも支援を引き続き行なっております。

ご質問・ご相談等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。